

泌尿紀要
Acta Urol. Jpn.

Vol. 33, No. 1 ACTA UROLOGICA JAPONICA January 1987

泌尿器科紀要

第33巻 第1号 1987年1月

腎細胞癌化学療法の <i>in vitro</i> での実験的研究	
1. 細胞回転からみた各種制癌剤の併用効果について	神波 照夫… 1
2. 細胞回転からみたインターフェロンと制癌剤との併用効果	神波 照夫… 15
マウスにおける N-Butyl-N-(4-hydroxybutyl)nitrosamine 膀胱発癌に 対する α -Difluoromethylornithine の抑制効果 (英文)	川原 昌己・ほか… 27
Descent of right renal vein 法により尿路再建を 施行した1治験例	小野 佳成・ほか… 31
下大静脈腫瘍塞栓を伴う腎癌の切除術の経験： 体外循環，肝の剝離脱転による手術手技の検討	実藤 健・ほか… 35
腎杯直接穿刺による回腸導管症例の細菌学的検討 (上部尿路感染症の新診断法)	滝 洋二・ほか… 43
PVB 療法による進行睾丸腫瘍の治療成績	村瀬 達良・ほか… 47
特異性男子不妊症に対する HCG-HMG 併用療法について	水谷 雅己・ほか… 51
尿路外傷 114 例の統計ならびに臨床的観察	鈴木 信行・ほか… 55
恥骨上前立腺摘除術の手術成績	米田 文男・ほか… 65
食道癌の腎転移症例	林田 英資・ほか… 69
VUR, 神経因性膀胱に合併した単腎性骨盤腎の1例	滝内 秀和・ほか… 75
完全重複腎盂尿管に合併せる尿管癌の2例	打林 忠雄・ほか… 79
気管支喘息と交代現象を示した間質性膀胱炎の1例	山田 哲夫・ほか… 85
後部尿道に発生した Inverted papilloma の1例	長谷川総一郎・ほか… 91
女子尿道に原発した悪性黒色腫の1例	梶川 博司・ほか… 97
限局性尿道アミロイドーシスの1例	小川 隆敏・ほか… 101
形質細胞への分化を示した睾丸悪性リンパ腫の1例	清田 浩・ほか… 107
睾丸悪性リンパ腫の2例	矢野 正憲・ほか… 113
前立腺平滑筋肉腫の1例	奥野 博・ほか… 117
排尿障害を示した von Recklinghausen 氏病の4例	水尾 敏之・ほか… 125
精索脂肪腫の1例	小出 卓也・ほか… 133
陰囊内に発生した硬化性脂肪肉芽腫の1例	吉田 全範・ほか… 137
前立腺癌に対する徐放型 LH-RH analogue. ICI 118630 (Zoladex®) の臨床効果	宇佐美道之・ほか… 141
乏精子症に対する methylcobalamin 大量療法の 有用性に関する研究	森山 浩之・ほか… 151
淋菌感染症の疫学的・治療学的研究 —Spectinomycin による One shot 療法の検討—	酒井 茂・ほか… 157

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto Japan 606
京都大学医学部泌尿器科学教室

購読要項 (1986年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料8,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部宛、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

投稿規定 (1986年1月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
 2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
 - (1) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文5頁(400字×20枚程度)、図(Fig.)10枚、表(Table)10枚までとする。
 - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書(ワープロ可)、当用漢字、現代かなづかい、平がなし、清書する。年号は西暦とする。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプ(手書き不可)する。
 - (4) 原稿の表紙に標題、所属機関名、主任名、著者名の順に和文で併記する。下段に筆頭著者名と、2語からなる running title を付す。
例；山田・ほか：前立腺がん・PSAP
 - (4) 英文抄録：和文の表紙、本文とは別に標題、著者名、所属機関名、主任名、5語(英文)以内の Key words、抄録本文の順にB5版ダブルスペースでタイプし、別にその和訳をつける。
 - (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、主任名、Key words(和文に準ず)、running title(和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、主任名、抄録の順に記した和文抄録を付す
 - (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μ g, %, $^{\circ}$ C などとする。
 - (5) 和文、英文原稿を問わず図、表、写真などは各々台紙に添付し、それらに対する説明文は別紙に一括して Fig. 1 ..., Fig. 2 ..., Table 3 ... などと記載する。説明文は英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。写真はトリ
- 編集委員： 石神 襄次 前川 正信
 園田 孝夫 友吉 唯夫
- ミソグシ、図・表は誤りのないことを確認のうえ、トレースして紙焼したものが望ましい(コピー不可)。様式については本誌の図・表を参照する。
- (6) 引用文献は必要最少限にとどめ、引用箇所を本文中に入れる。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文はタイプする。
(例；山田^{1,3,7)}、田中^{1,3-10)}によると)
雑誌の場合—著者名(全員)：題名、雑誌名
巻：最初頁～最終頁、発行年
単行本の場合—著者名(全員)：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年
 - (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
 - (8) 投稿原稿は編集委員会においてその採否を決定し、それに従って編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。
 - (9) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部が行なう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。
3. 掲載
 - (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
 - (2) 紙代、印刷費、製本代は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後に行なう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などに関する研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。
 4. 別刷：実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。
宮崎 重 新谷 浩
吉田 修(主幹)